

平成27年度全国自立援助ホーム協議会事業計画

自立援助ホームはどこへ向かっていくべきなのか。これは我々に課せられた大きな課題である。

「運営指針」も定められ、自立援助ホームは社会的養護のシステムの中にほぼ組み込みが完了したように見える。しかし自立援助ホームの位置付け、その役割は、決してしっかり定まったものとなったわけではない。我々はこのことを認識しておく必要がある。

先般の川崎市の事件は、少年の凶悪事件が決して収束に向かっていないどころか、その前の栃木の事件と合わせて、13歳の子どもが殺人事件の加害者にも被害者にもなる時代であることを思い知らされた、ショッキングな事件であった。彼らは我々のすぐ近くにいる。そして彼らがどれほど劣悪な環境に置かれていたのか、どれほどつらい思いをして育ててこなければならなかったか……。我々には容易に想像がつく。

自立援助ホームは「行き場のない子どもたち」の受け皿と呼ばれてきた。その裏には「忘れられた子ども」や「捨てられた子ども」を作ってはならないという熱い思いがあった。しかしそれは「どんな子どもでも受け入れる」と言うことではない。自らの力量を越える重荷を背負えばつぶれてしまう。我が身を守ることができなければ、いくら強い信念があっても続けられるものではない。

自立援助ホームは重要な場所に立っている。「出口」にいる者には全体の不備が見える。我々は社会的養護のシステムの最終段階を守るものとして、必要なことをシステム本体にフィードバックし、改善のために役立てることができる。また、虐待や貧困、犯罪などの「世代間連鎖」についても同様である。自立援助ホームは世代の結節点にあり、その経験の蓄積は連鎖を断ち切るための支援においても、重要な役割を果たすことができるだろう。自立援助ホームはこのような社会的ネットワークの中でこそ発展・進化を遂げていくということを忘れてはならない。

以上のことを踏まえ平成27年度、我々全国自立援助ホーム協議会は、以下の目標の下に活動をする。

- ① 各ホームが健全かつ安定したホーム運営を行っていくための支援を行う。
- ② これまでの自立援助ホームの伝統を継承しつつ新たな時代への対応力をつける。
- ③ 自立援助ホーム未設置県に対しての設置促進活動を厚生労働省の将来像（300か所）に照らし、行う。
- ④ 具体的活動内容は各委員会が示すとおりである。

平成27年度 協議会事務局 事業計画

1. 事務局員 役割分担

○事務局長

<恒松氏(あすなる荘)>

- ・ 会員ホームの相談対応
- ・ 協議会の会費の確認の連絡等
- ・ 各種振り込み

○事務局次長

<小久保氏(カリヨンタヤけ荘)>

- ・ 会計責任者
- ・ 入会退会関係(入会申し込み書の送付・電話での対応)
- ・ 運営役員会の交通費の支払い
- ・ 協議会の会費の徴収・祝い金振り込み

○庶務

<大屋氏(おうぎ寮)>

- ・ 各種書類(通知文・ハンドブックなど)の配送

<田村氏(倉吉スマイル)>

- ・ メールにて各種連絡
- ・ 運営役員会の議事録
- ・ 自然災害などの被害届
- ・ 各委員会の動き・HP・たよりの確認
- ・ 会員のメールアドレスの管理

<久野氏(まつぼっくり)>

- ・ 運営役員会の開催(日程調整・会議室の確保・参加者に通知)
- ・ 会計ソフトの管理
- ・ 決算書・予算書の作成
- ・ 事務局の事業報告・事業計画の作成
- ・ 会員データ・会員施設一覧の作成

2. 運営役員会の開催予定

第1回	平成27年	4月	28日	11:00~12:00	アルカディア市ヶ谷 ホーム長研修会・総会 最終確認
第2回		6月	日	13:00~17:00	場所未定 ホーム長研修会・総会総括
第3回		9月	日	13:00~17:00	場所未定 全国大会について
第4回		月	日	11:00~12:00	場所未定 全国自立援助ホーム協議会滋賀大会 全国大会の最終確認
第5回		1月	日	13:00~17:00	場所未定 全国大会の総括
第6回	平成27年	3月	日	13:00~17:00	場所未定 次年度ホーム長研修会について・総会について 各委員会の事業報告(案)の確認・事業計画(案)・ 予算(案)についての確認

※開催時期に間に合わない可能性のある議案については、そのつど運営役員にメール等でお知らせし、確認を取る

3. 事業計画

- ・平成27年 4月28日 ホーム長研修会 (アルカディア市ヶ谷)
- ・平成27年 4月29日 総 会 (アルカディア市ヶ谷)
- ・平成27年 月 日 ~ 日 全国自立援助ホーム 滋賀大会
(場 所 未 定)

平成27年度 制度政策委員会 事業計画

平成27年度は、以下の要求を掲げ、他の関係団体と共に、その実現に向けた取り組みを行う。

1. 職員配置・人件費等に関する事項

《基本的な職員の増員》

- ①現状の6名までの職員配置基準である常勤職員2名と補助職員1名のところを、それぞれ1名ずつの増員（常勤職員3名、補助職員2名の態勢）を要求する。

《「社会生活支援専門相談員」の配置》

- ②「社会生活支援専門相談員」は、入居中におけるリービングケアから退居後のアフターケアに至るまでの一連の支援をする役割を持つもので、「就労自立」を目的とする自立援助ホームにとっては、必要不可欠な専門職員です。退居後の支援、さらに20歳以降の具体的な支援の充実のためにも強く要求する。

2. 子どもたちの就労生活等の援助に関する事項

- ①必要な児童には入居支度金を支給する。
- ②在所期間の延長について、当面は児童が20歳の年度末まで可能とする。
- ③資格取得に向けた助成のさらなる充実をする。

3. ホームの運営に関すること

《児童用採暖費の適用》

- ①児童の冬季の暖房（採暖）に必要な経費について、他の児童福祉施設と同様の適用を要求する。

《施設機能強化推進費の適用》

- ②自立援助ホームにおいても防災対策を強化する必要性に迫られている。職員はじめ入居児童への防災教育、訓練の実施及び避難具の整備を促進させる必要がある。
- ③新しいホームが増えている現状において、他のホームと合同での処遇困難事例のケース検討会を開催したり、職員の施設間交流などにより処遇技術を互いに学び合うなど、ホーム間の人的交流、情報交換を通して職員の質（力量）の向上を図り、日々の支援に役立てることが急務である。

4. 《家庭裁判所補導委託費の措置費との同額調整》

家庭裁判所の補導委託費については措置費との同額調整が必要である。全国協議会として、最高裁判所に対して正式に申し入れを行う予定である。

また、入居してくる児童の多くは、以前から要保護対象児であることから、特に児童相談所と連携して措置費の調整が出来ないかも検討されるべき点である。

5. その他

自立援助ホームの実態の理解を得て制度の充実に結びつけるため、厚労省の担当者とは予算要求の時だけではなく「懇談」の機会を設けるようにしたい。

平成27年度 調査研究委員会 事業計画

活動要旨

ホーム人数調査は例年通り、そして今年こそは全国自立援助ホーム実態調査を実施する。その他、事務局や全国ホームの会員からの要望を踏まえて必要に応じた調査研究を行う。今後、調査研究委員会が機能するように、体制を再検討していきたい。

①全国自立援助ホーム実態調査

現在の全国自立援助ホームに対する実態調査を行う。

②ホーム人数調査

毎年、国から要請がある調査を行う。4月予定。

③あり方検討委員会

自立援助ホームの将来的な機能や協議会のあり方を検討する「あり方検討委員会」を再開。調査研究委員長として加入。

④その他

事務局や会員より要望のある調査など、必要に応じて行う。

平成27年度 研修委員会 事業計画

●研修委員会 全4回

●ホーム長研修会

平成27年4月27日

於：アルカディア市ヶ谷私学会館

●女性スタッフ研修会

平成27年7月下旬（予定）

於：福岡県福岡市

●全国大会

平成27年10月1日～2日

於：滋賀県

●スタッフ研修会

平成28年1月下旬（予定）

於：未定

1日目：講義型研修

2日目：勤務経験3年以上と3年以下のスタッフに別れて分科会形式で意見交換（参加型）中心に行う。

●自主研修支援

※平成27年度より「新規開設ホーム研修会」は、2年毎に開催します。

※スタッフ研修会を勤続年数に分けて充実した内容で開催します。

平成27年度 広報委員会 事業計画

①広報委員会定期開催

全国自立援助ホーム協議会の更なる広報活動推進のため、広報委員会を2ヵ月に一度のペースで年6回開催する予定とします。他の委員会と連携をとりながら、広報誌およびホームページを活用したうえで、全国会員の要望を丁寧に拾い上げるシステム作りに努めます。

②『協議会便り』

全国自立援助ホーム協議会の広報誌として、『協議会便り』を昨年同様、年2回発行します。

一回目は、全国大会前の9月に発行予定。全国のホーム長の紹介や今年度全国大会開催県である滋賀県の「びつつ・ゆにっと」に大会に関する取り組みやその思いについて、また、滋賀県の見どころを「びつつ・ゆにっと」に紹介していただきます。

二回目は、年度末の3月に発行予定。全国のホームまたは各ブロックの実践と取り組みについて、また、大切な理念の継承のために寄稿を募り、その内容を3月発行の『協議会便り』に掲載します。

③HPの活用

全国自立援助ホーム協議会の新しいホームページが作成されたことを踏まえ、事務局および各委員会と連携をとり、会員に必要でかつ充実した内容の掲載に努めます。

全国の最新ニュースの案内および更新、研修の案内、寄付金のお知らせ等掲載し、全国へ向けた事務局からのメールでの案内も並行して、ホームページ上で告知していきます。新会員名簿一覧は、随時修正・変更していき、その名簿上から各ホームへのリンクについては、希望するホームを確認したうえで、掲載していきます。